

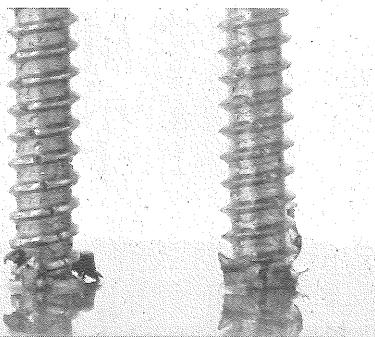
高耐食・硬さを両立

薬液・処理時間など工夫

ステンレス製
ネジ向け

神山鉄工所が表面処理

【東大阪】神山鉄工所（大阪府東大阪市、神山貴至社長）は、赤鑄などの発生を抑える高い耐食性と、ステンレス鋼板にも施工可能な表面の硬さを兼ね備えるステンレス製ネジ向け表面処理「アランカ」を開発した。アランカを施したステンレス製ネジの販売を建材メーカーや工務店、設計事務所などに近く本格的に始める。初年度1000万円以上の売り上げを目指す。



アランカはクロム系ステンレス（SUS410）製ネジ向けの表面処理で、メッキ処理メーカーや薬品メーカーとの共同開発。薄い被膜で表面を硬くした

間などを工夫することで実現した。塩水噴霧試験（SSST）で5000時間以上でも赤鑄の発生を抑えられたほか、塩害地域での野外暴露試験でアルミ板やガルバリウム鋼板に施工し

て5000時間以上を経ても電食が起きなかつた。

また従来のように途中で焼き付くことなく、厚さ3ミリまでのステンレス鋼板に施工が可能。ねじ込みトル

クも従来より約30%軽減し、現場の作業性も改善した。

傷についても時間の経過とともに徐々にふ

さぐ自己治癒機能も備

え。欧州の特定有害物質規制（RoHS）指令と化学品規制（REACH）にも対応し

ている。価格は自動車

部品の表面処理などで

広く普及するシオメック

ト処理を施したステン

レス製ネジと同程度を見込む。神山社長は「他社との差別化がほしい」と話す。

従来品（左）では焼き付いてネジ山が丸く、「アランカ」（右）では焼き付かず（ネジ山もきれいなまま）、（2ミリ以下のステンレス板に施工）

工、神山鉄工所提供

●

伊原木知事は「晴れの日が全

国1位で、活断層がほとんどな

い。首都圏企業の事業継続計画

（BCP）対策、本社機能移転

に土地引き渡し予定で取り組ん

でいる」と同県の魅力を解説。「玉島ハーバーアイランド

3工区分譲を、2023年下期

に土地引き渡し予定で取り組ん

でいる」と同県の魅力を解説。「玉島ハーバーアイランド